



## 8/4 救命率向上に向けて連携強化



県立新居浜病院の新診療棟内に「救急ワークステーション」が開設されました。

救急出動体制を維持しながら、救急隊員の病院実習を行うために導入。週1回、市消防本部の救急隊員3人と救急車1台を派遣し、救急科医師の指導のもと、救命技術の向上を目指します。

記念式で北條禎久院長は「医療現場で実践的な実習を行うことで、医師や看護師と救急隊員の連携をより強くする。救急搬送体制の強化や救命率の向上につなげたい」と思いを語りました。

## 8/6 参加者の願いが込められた青い壁



別子銅山と鉱物のつながりに着目した女子美術大学（東京）の橋本弘安名誉教授を中心に、あかがねミュージアムの開館以来、約6年かけて制作してきた「青い壁」が披露されました。

同館などでのワークショップで、青色のラピスラズリ鉱石を砕いて作った絵の具を約5cm角の和紙に塗り、約6000枚を集めて制作。和紙の裏には、参加者の願い事が書かれています。

お披露目式では、小学生の時からワークショップに参加してきた松本海璃さん（西高1年）が最後の和紙を張って完成させ、「終わって寂しいけど、達成感があります」と話しました。

## 8/6 別子に感じた可能性 協力隊着任



別子山地域おこし協力隊の着任式があり、松井篤子さんに委嘱状が交付されました。

名古屋市に住んでいた松井さん。四国に住むのは今回が初めてです。協力隊のサイトで目に留まった別子山に可能性を感じ、「ここで何かできないか」という思いから協力隊への志願を決意しました。

今後は別子ブランドの野菜作りに取り組む予定です。「営業の経験を生かし、作るだけでなく、どうすれば買ってもらえるかというところまで考えたい」と意欲を見せました。別子山地区では平成26年度から地域おこし協力隊を導入し、地域の活性化に取り組んでいます。

## 8/8 ビジネスプランで課題解決！



地域課題の解決へ、高校生がビジネスプランを提案する「高校生ソーシャルビジネスコンテスト」の最終審査会がワクリエ新居浜で行われました。一次審査会を通過した4チームが出場。ビジネスを一から学び、新居浜愛あふれるプランを提案しました。

優秀賞に輝いたのは、高校生ボランティアサークルMayが提案した「MAY KITCHEN」。コロナ禍で増えている廃棄野菜でスイーツを作り、キッチンカーで販売するというビジネスモデルで、持続可能な視点と、実現可能な点が特に評価されました。

## 8/10 全国のひのき舞台へ！

令和3年度全国中学校体育大会（8/17～8/26）に出場する選手の壮行式が、市民文化センターで行われました。出場するのは、川東中女子バスケットボール部とバドミントン部、船木中女子バドミントン部、西中水泳競技部の選手たち。大舞台に向けた意気込みを、一人一人が力強く語りました。



## 8/19 チーム一丸で目指せ優勝！



四国バレーボール小学生チャンピオンシップ大会へ出場する金栄 JVC の選手の皆さん。

## 8/26 シトラスリボンで差別なくそう



手作りシトラスリボンの寄贈で訪れた愛媛県人権対策協議会 新居浜支部の皆さん。

# おおきくなあれ

令和元年・令和2年10月生まれのお子さんをご紹介します。



応募フォーム  
はこちら

令和元・2年12月生まれのお子さんの写真を募集します。  
締め切りは、**11月1日(月) (執務時間中必着)**です。

**【応募方法】** お子さんの写真・氏名（ふりがな）・性別・生年月日、住所、保護者氏名、昼間連絡がとれる電話番号、20字以内のコメントを添えて、下記へ郵送・持参・メール（JPEG形式）してください。記入に不備があった場合は、掲載できないことがあります。掲載・非掲載に関わらず、写真は返却できません。

**【応募先】** 〒792-8585 秘書広報課 広報係（3階南）

☎ 65-1251 ☒ hisyokouhou@city.niihama.lg.jp

※メール応募の場合…送信後2～3開庁日以内に受付完了の返信がない場合は、秘書広報課までご連絡ください。



**松本倫季くん**  
令和2年10月15日生  
元気いっぱいニコニコともくん、  
祝1歳！



**尾崎翔平くん**  
令和2年10月23日生  
1歳おめでとう！  
元気いっぱい大きく育ってね♡



**土肥颯太くん**  
令和2年10月29日生  
1歳お誕生日おめでとう☆  
元気に遅く育ってね♡

※応募数により、月によって写真のサイズは変わる場合がありますのでご了承ください。